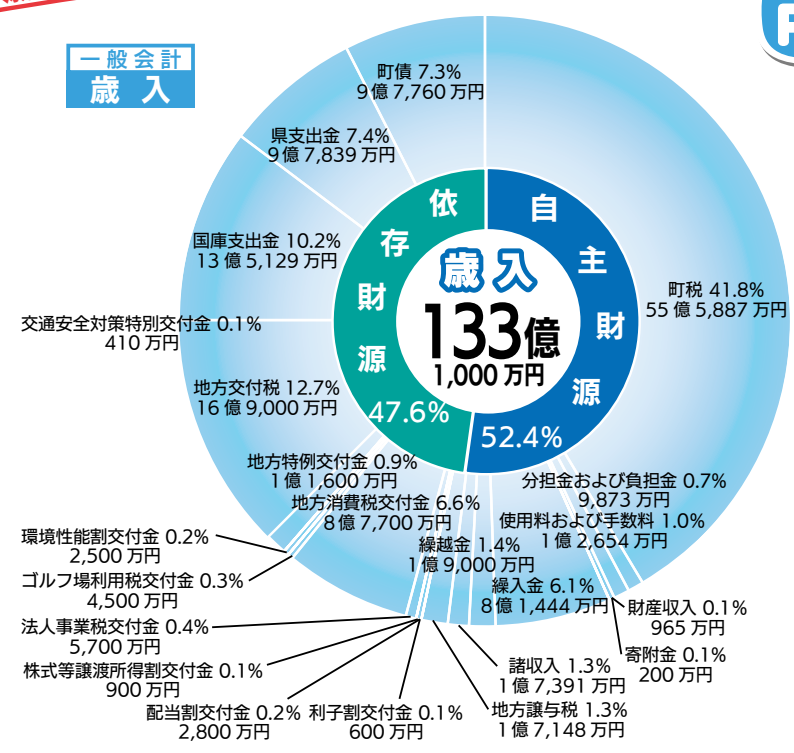


歳入のPOINT

- ・感染症の影響等で自主財源は10.5%減
- ・地方交付税の増加等で依存財源は11.9%増



歳入全体における自主財源は、新型コロナウイルスの感染拡大における景気の後退などから、町税で減額を見込むなどして、前年度比8億2,199万円、10.5%減の69億7,414万円を計上しております。また、依存財源は地方交付税の増加等により、前年度比6億7,199万円、11.9%増の63億3,586万円を計上しております。歳入全体に占める、それぞれの割合は、自主財源が52.4%、依存財源が47.6%となりました。

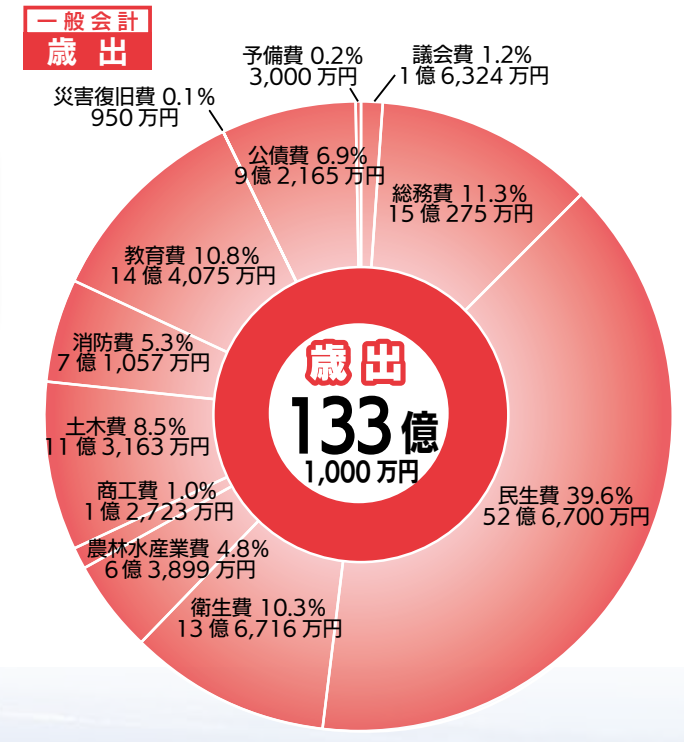
歳出のPOINT

- ・扶助費などの義務的経費は5.2%増
- ・保育園増改築の終了等で投資的経費は26.6%減

義務的経費は、66億2,351万円で前年度比3億3,003万円、5.2%増です。これは平成30年度の菰野西競技場整備事業とほぼ同程度の金額です。義務的経費に含まれる人件費は、保育士・幼稚園教諭の増員や会計年度任用職員の共済組合加入などにより増加しており、扶助費、公債費の増加に関してもそれぞれ増加しています。

投資的経費は、開設予定の私立保育園への施設整備補助金や、水槽付消防ポンプ自動車の更新等を予定していますが、前年度の菰野保育園の園舎増改築事業や、鶴川原小学校の給食室改修事業が終了して事業費が皆減したことなどにより、前年度比3億9,726万円、26.6%減の10億9,538万円となっています。

その他の経費は、補助費等が下水道事業会計補助金の減額等による減少や積立金の減少などにより前年度比8,276万円、1.5%減の55億9,112万円を計上しています。



各会計の予算規模		
	予算規模	前年度との比較
一般会計	133億1,000万円	1.1%減
特別会計	国民健康保険 36億8,500万円	1.2%減
	土地取得 49万円	5.6%減
	介護保険 32億9,900万円	9.2%減
	後期高齢者医療 9億1,000万円	1.1%増
企業会計	水道事業 12億8,956万円	6.3%増
	下水道事業 32億1,831万円	3.5%増
予算総額	257億1,237万円	1.3%減

※四捨五入の関係で合計額等が合わない場合があります。

この1年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、生命や健康にとどまらず、人々の行動や意識、価値観にまで波及し、日常生活や経済活動まで深刻な影響を及ぼしました。当町では補正予算を幾度となく編成し、さまざまな施策を講じてまいりましたが、今なお、感染拡大の収束が見通せない厳しい状況が続き、地方財政にも大きな影響を及ぼしています。

もともと当町は、町税など自前の歳入だけでは歳出を賄うことができず、国からの交付金や補助金などを受けながら財政運営を行ってまいりました。近年では実質公債費比率^{※1}や経常収支比率^{※2}が悪化するなど、財政の弾力性が失われつつある状態にあります。今後も少子高齢化による構造上の原因から扶助費などの義務的経費^{※3}で歳出の増加が避

けられない中、新型コロナウイルス感染症の拡大は景気を後退させ、これまで堅調に推移してきた税収が減少に転じることになりました。財政調整基金^{※4}も減少してきており、これ以上の投資や臨時的な行政需要に対して機動的に対応することがますます困難な状況に直面しております。人口が増加し経済が成長しているところであれば、歳入の増加も見込まれましたが、今後の少子高齢化を取り巻く環境を鑑みますと、歳入は減少するおそれが高いと考えます。そのため、今後期待できる歳入に見合った財政運営ができるよう、行財政の体質改善を図り、町を「再生」させることで、いつまでも住みやすい、そんな菰野町を作る。これが、私の町長としての任期1期目の折り返し点にある今、残りの任期における最大の目標として考えており

ます。具体的には、事業の遂行を円滑にし、町民皆さまの負担を軽減するため、行政各課が連携しやすい環境づくりに取り組めます。厳しい財政状況の中、住民サービスを充実させるためには知恵と工夫が必要になります。最後に、令和3年度は第6次総合計画の初年度になります。総合計画は総合的、計画的なまちづくりの考えの中で最上位に位置する、まちの「羅針盤」であり「設計図」となるものです。この計画に掲げる基本構想の実現と、基本目標を達成できるよう、町民の皆さまとともに町政に取り組んでまいります。

令和3年度の予算は、以上の考えに従って編成されたものであり、新型コロナウイルス感染症を克服しつつ、菰野町が基礎自治体として果たすべき役割を果たすためのものです。私が町長に就任して以来、一貫して掲げてきております、もつと住みよいまちづくりと、持続可能なまちづくりの実現に向け、努めてまいります。

提案説明

もつと住みよいまちづくりと
持続可能なまちづくりの実現に向けて

当初予算として、総額約257億円を3月の菰野町議会定例会に提案しました。一般会計の予算は133億1,000万円で、前年度の予算と比較して1.1%の減となりました。今月号では一般会計予算について、柴田町長が議会で行った提案説明とともに主要な事業等をご紹介します。



※1 実質公債費比率 税収などの町の年間収入に対する公債費の割合
 ※2 経常収支比率 経常的な経費に地方税や普通交付税などの経常的な収入がどの程度費やされているかを求めた比率
 ※3 義務的経費 制度的に義務付けられた人件費、扶助費（医療の給付金など）、公債費の3つの経費
 ※4 財政調整基金 年度間の財源の不均衡を調整するための基金